

## 現高2生へ

### 2014 年に向けての【学習アドバイス】 英語

来年度入試にむけて、高2生のみなさんがこの1年間どのような学習をしたらいいのか考えてみましょう。

#### ■ 今年のセンター試験を解いてみよう

2013年センターにチャレンジしてみましょう。英語は他教科とは違って、高2では習っていないからまったくお手上げ、ということありません。もちろん覚えている単語量や文法事項も不足しているでしょうから、そんなにいい成績がとれるわけではないでしょうが（もちろん取ればりっぱです）、だいじなのは点数ではなく、今自分がいる位置を知り、これから登らなければならない山の高さを肌で知ることです。時間（または自信）がなければ、第2問と第5問だけでもいいでしょう（35分程度）。

やってみればわかるでしょうが、「問題量が多くて時間が足りない！」という人が多いと思います。高2では最後の第6問まで行き着かないのがふつうです。ボロボロだった人も多いはず。それでも市進予備校の過去のデータでは、高3の1年間で100点以上アップした生徒は珍しくありません。逆に高2で高得点を出せた人は、慢心に注意。高3で成績が下がることだってありうるのです。

#### ■ 「センター試験は教科書レベルの学習で十分」か？

センター試験は確かに私大難関校や国公立個別試験に比べればやさしく見えますが、案外取りこぼしが多いのです。その理由はいろいろありますが、なかでも、

時間のわりに問題量が多く、「初めての大学入試」というプレッシャーもあって、時間配分を誤り、解き終わらない生徒が続出する。つまり、**速読力が必要になる**

という点に注意が必要です。もっとも私大難関校ではさらにスピードが要求されますから、センターを楽にこなせる速読力・速解力めざす学習が必要になります。

#### ■ レベルアップ、とさらにその先へ

今すぐセンター試験に挑戦！そして第2問のデキがイマイチなら（65%以下）、まず文法と単語学習からスタートです。できたら**高2のうちに**こまかいところはともかく、文法の大枠は理解しておきたいところです。

単語を増やし、文法をひととおりマスターすれば、とりあえず成績は上がっていきます。苦手な人でも、まじめに取り組めば、夏休み頃までに、文法プラス単語の学習で偏差値50くらいまで向上できます。でも、問題はその後です。文法に比べると、読解力はなかなか上がっていかないものです。そして、上位校・難関校では読解が英語入試のカナメですし、センターでも70%は読解がらみの問題です。

単語の意味と意味を「なんとなく」つないでいく、という読み方をしていませんか。それでは永久に「なんとなく読めた気がする」というレベルから抜け出すことができません。文法・単語・熟語などすべての英語力を足並みを揃えて伸ばしていかないと、読解力はつきません。読解力は総合力なのです。読解力向上のための勉強は、文法力と単語力を土台にしつつ、さらに授業を通じた精密な英文理解と、音読による反復練習によって多くの英文を自分のものにしていくというプロセスをたどります。さらには、「英語を読む」力だけでなく、「英語を通じて内容を理解する」力も養成しなければなりません。いかに読解学習のこつ、手応えとリズムをつかんでいくかが、勉強の大きな壁になるでしょう。

#### ■ スタートダッシュ！

先輩に聞いてみればわかりますが、高3の1年間はあっという間に過ぎていきます。受験生ならみんな、「あと3か月、せめて1か月ほしい」と思っています。のんびりしているひまはありません。今すぐ、はじめましょう。自分の弱点をみつけてはそれを埋めていく、というなかなかたいへんな作業の繰り返しですが、その過程で今までの自分とはちがう自分を見つかることができるでしょう。この1年をそういう貴重な1年にしてみませんか。